

2022年8月22日

各位

会社名 株式会社アマナ
代表者 代表取締役社長 進藤 博信
(コード番号 2402 東証グロース市場)
問合せ先 取締役Platform Design 部門担当
石亀 幸大
(TEL. 03-3740-4011)

過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び 過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ

当社は、本日、過年度に提出いたしました有価証券報告書及び四半期報告書の訂正報告書を関東財務局へ提出するとともに、過年度の決算短信及び四半期決算短信についても一部訂正を行いその内容を開示いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の経緯及び理由

当社は、今般、証券取引等監視委員会から、過年度に提出いたしました有価証券報告書及び四半期報告書について、訂正報告書を提出すべきとの指摘を受けました。

訂正の対象及びその訂正の要否については、当時慎重に検討のうえ不要と判断し、監査証明を添付した有価証券報告書及び四半期報告書を提出しておりましたが、今般の証券取引等監視委員会からの重要性があるため訂正の必要性があるとの指摘をふまえ、有価証券報告書の訂正報告書及び四半期報告書の訂正報告書を提出することにいたしました。

今般訂正を行う内容は、2020年12月期第3四半期決算で発覚した不適切会計に関する事項（当社の連結子会社であった株式会社アマナデザインにおける売上高の架空計上並びに売上高及び外注原価の期間帰属誤り）及びその他の未修正事項（棚卸資産の過大計上及び外注原価の過大計上等の誤り）となります。当該未修正事項については、当時、過年度の連結財務諸表等の訂正の要否について慎重に検討のうえ不要と判断し、不適切会計に関する事項については、2020年12月期第3四半期決算において反映しておりましたが、今回の訂正により、本来訂正すべき期間での訂正として、過年度の連結財務諸表等を訂正いたしました。また、今回の訂正により、その他の未修正事項についてもあわせて訂正しておりますが、当該未修正事項の訂正により各期の連結業績に与える累積影響額は、「4. 訂正による過年度連結業績への影響額」に記載のとおりであり、2021年12月期以降の決算数値には影響ありません。

2. 訂正を行う有価証券報告書及び四半期報告書

有価証券報告書

- 第49期（自 平成30年1月1日 至 平成30年12月31日）
- 第50期（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）
- 第51期（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）
- 第52期（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

四半期報告書

- 第50期 第1四半期（自 2019年1月1日 至 2019年3月31日）
- 第50期 第2四半期（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
- 第50期 第3四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
- 第51期 第1四半期（自 2020年1月1日 至 2020年3月31日）

第51期 第2四半期 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
 第51期 第3四半期 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
 第52期 第1四半期 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
 第52期 第2四半期 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
 第52期 第3四半期 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)

なお、第52期 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日) に係る連結財務諸表及び財務諸表の修正は行っておらず、第51期 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日) 以前の比較情報に係る記載事項の一部のみ訂正しております。

3. 訂正の対象となる決算短信及び四半期決算短信

決算短信

2018年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)
 2019年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)
 2020年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)
 2021年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

四半期決算短信

2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)
 2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)
 2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)
 2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)
 2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)
 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)
 2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)
 2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)
 2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)
 2022年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)
 2022年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

4. 訂正による過年度連結業績への影響額

(単位：百万円)

期間	項目	訂正前 (A)	訂正後 (B)	影響額 (B-A)	増減率 (%)
第49期 2018年12月期 通期	売上高	22,290	22,244	△45	△0.2
	営業利益	550	512	△37	△6.8
	経常利益	442	405	△37	△8.4
	親会社株主に帰属 する当期純利益	21	△6	△28	—
	総資産	12,594	12,503	△91	△0.7
	純資産	1,837	1,808	△28	△1.6
第50期 2019年12月期 第1四半期	売上高	5,431	5,454	23	0.4
	営業利益	37	70	33	88.6
	経常利益	7	40	33	428.6
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△125	△85	39	—
	総資産	13,039	12,980	△59	△0.5
	純資産	1,717	1,728	10	0.6
第50期 2019年12月期 第2四半期	売上高	11,167	11,069	△97	△0.9
	営業利益	57	△25	△83	—
	経常利益	12	△70	△83	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△119	△195	△75	—
	総資産	11,519	11,367	△151	△1.3
	純資産	1,736	1,631	△104	△6.0

第50期 2019年12月期 第3四半期	売上高	16,631	16,583	△47	△0.3
	営業利益	△234	△329	△95	—
	経常利益	△305	△400	△95	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△434	△525	△91	—
	総資産	11,662	11,524	△138	△1.2
	純資産	1,429	1,308	△120	△8.4
第50期 2019年12月期 通期	売上高	23,031	23,060	28	0.1
	営業利益	97	100	3	3.1
	経常利益	11	14	3	26.6
	親会社株主に帰属 する当期純利益	△223	△229	△6	—
	総資産	11,816	11,797	△18	△0.2
	純資産	1,638	1,604	△34	△2.1
第51期 2020年12月期 第1四半期	売上高	5,129	5,110	△18	△0.4
	営業利益	△263	△265	△1	—
	経常利益	△264	△266	△1	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△297	△299	△1	—
	総資産	11,631	11,592	△38	△0.3
	純資産	1,343	1,306	△36	△2.7
第51期 2020年12月期 第2四半期	売上高	8,576	8,557	△18	△0.2
	営業利益	△1,051	△1,086	△35	—
	経常利益	△1,096	△1,132	△35	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△1,829	△1,864	△35	—
	総資産	10,037	9,999	△38	△0.4
	純資産	△206	△276	△69	—
第51期 2020年12月期 第3四半期	売上高	12,211	12,227	16	0.1
	営業利益	△1,635	△1,601	34	—
	経常利益	△1,622	△1,588	34	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	△2,412	△2,377	34	—
	総資産	9,737	9,737	—	—
	純資産	△767	△767	—	—
第51期 2020年12月期 通期	売上高	17,268	17,285	16	0.1
	営業利益	△1,523	△1,488	34	—
	経常利益	△1,478	△1,444	34	—
	親会社株主に帰属 する当期純利益	△2,467	△2,433	34	—
	総資産	10,490	10,490	—	—
	純資産	△802	△802	—	—

以上